

KAWAGUCHIKO
STELLAR
THEATER

河口湖ステラシアター

河口湖ステラシアター フレンドリークラブ会員募集

新年度会員平成16年3月1日より受付開始!!

河口湖ステラシアターフレンドリークラブでは平成16年度の新規会員を募集します。ステラシアター及び円形ホールでのコンサートをお楽しみになりたい方、ぜひご入会ください。

《入会金》無料、《年会費》1,000円又は2,000円です。平成16年3月1日より受付開始となります。(有効期間平成16年4月1日より1年間)

平成16年度河口湖ステラシアターフレンドリークラブ会員への入会をご希望される方は、下記の方法でお申し込みください。

特典

河口湖ステラシアター及び河口湖円形ホールのチケットの優先電話予約
コンサート情報をダイレクトメールにてお知らせ
チケットの割引(公演によっては適用とならない場合もあります)
観光スポット・飲食店などのご優待(会員ご本人のみとなります)

お申し込み 方法

入会金 無料
年会費 【一般会員】 1,000円(1公演につきチケット割引2枚まで)
【ファミリー会員】 2,000円(1公演につきチケット割引5枚まで)

郵便振込

郵便局備付の払込票(赤色)に必要事項記入の上お振込下さい。(振り込み手数料無料)

【口座番号】00240-5-7769

【加入者名】河口湖ステラシアター
イベント実行委員会

【通信欄】旧会員番号(会員更新の場合)

【ご依頼人】お名前にはフリガナをご記入下さい

お振込から会員証が届くまで10日間程かかります。

ステラシアター窓口来館

窓口の申し込み用紙に必要事項をご記入の上年会費を添えてご提出下さい。その場で会員証を発行します。

窓口営業時間 9:00~ 17:00

休館日 火曜日、祝日の翌日



2004年イベント予定

平成16年 8月15日(日)~21日(土) 富士山河口湖音楽祭2004

8月21日(土)『佐渡裕指揮 シエナウインドオーケストラコンサート』

“ステラシアター、円形ホール10周年及び富士河口湖町合併”に伴う記念イベントや、さらに皆様楽しんでいただける公演を企画しています。どうぞご期待下さい!!

お問い合わせ

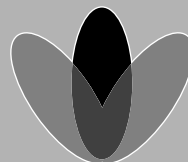
河口湖ステラシアター

TEL 0555-72-5588

休館日 火曜日、祝日の翌日



ひと ひと 女と男の情報コーナー



KAWAGUCHI
MACHI
WOMEN'S PLAN

平成15年度 南都留地域 「地域発 男と女とのフォーラム」

『家庭・地域・行政にできること』子育て支援について、今、何が必要か考えました。

南都留地域「地域発男と女とのフォーラム」

が1月24日に富士吉田市民会館で開催されました。これは、南都留地域女性団体連絡協議会及び男女共同参画推進リーダーが中心となる同事業実行委員会が主催し、「家庭・地域・行政にできること 子育て支援について、今、何が必要か考えよう」をテーマにパネルディスカッションが行われました。会場には、富士河口湖町からも女性団体の皆さんが多数参加しました。



パネルディスカッションでは、前県立富士女性センター館長の吉原五鈴子さんがコーディネーターとなり4人のパネリストにより熱心に意見交換が行われ、会場からもたくさん質問や意見が述べられました。パネルディスカッションでのパネリストの子育て支援活動や意見の中から少し紹介した

いと思います。

松本恵子さん(子育て支援センターちびっこほづ)子育てサークルから始まって以後、活動に共感する仲間が増えて、子育て支援の輪が広がって、子育て支援センターちびっこほづへと発展してきた。家庭教育及び子育て中の親への支援、子育てサークルの支援、子育て情報誌の発行、子育て支援ボランティアリーダーの養成など子育て支援の輪を広げていく。活動の中から実感するのはモデリングの重要さ・・・子どもは私たちの後姿を見て育つ、彼らのよきモデルになりたい。

遠山喜与子さん(西桂町保健師)

「両親学級」の取り組みから見えるもの。子育ては両親で、という観点から妊娠中から両親の役割を実践的に考えていく講座を実施。子どもをどう育てたらよいのかわからない親、地域に一歩ふみ出せない親のサポートや場所の開放をし、親を支援、育てることも行政の役割と考える。

白川恵子さん(コープやまなし)

「子育て支援」に対する取り組み。子育て応援イベントの開催や食を通しての子育て支援仲間同士での支えあい、助け合いの会の設立。情報発信の場や異年代の人たちが集えるサロンがあったら・・・行政と連携して実現したい。

流石良一さん(富士河口湖町生涯学習課)

地域における人づくり、地域の子育てとは何か? 「100キロ踏破ふるさと道中」の事業を通して16年間子どもたちに感動を与え、そしてそれ以上の感動を与えられた教育委員

会の担当者たちと事業にかかわった中学生、高校生ボランティア、大人たち。100キロ踏破の経験が未来を担う子どもたちを育てていく。やがて、その子らは、地域の子どもと心が通いあう、よき指導者の大人として地域に登場するであろう。

まとめ

吉原五鈴子さん(前県立富士女性センター館長)パネリストの発表から、家庭・地域・行政が一つになって子育て支援をしていくこと、情報が発信できる、受信できる場所や集える場所があったら・・・との意見や提案があったが、箱物的な考えでなくいかに活用していくか、どう運営していくか、子育てに悩む母親たちをサポートする仕組みを行政だけでなくみんなで考えていくべき。役割分担ゆえに悩む親たちにジェンダーフリーのエールを贈ってほしい。

パネルディスカッションのなかで子育てサロン、交流センターの提案があり富士河口湖町においても女性の交流センターが設置されとの話題も出ました。

私たちの町の女性や、異年代の人たちが集い交流し、お互いが支えあう場所としてや情報が交換し合える場所をみんなで作り上げていきたいと考えました。



虫たちのささやき

ニホンリスの調査について アカマツの実をどう運ぶ？

昨年11月号と先月号でもふれましたが、河口湖フィールドセンターの周辺はニホンリスの宝庫です。それは、約110年前に富士山の8合目付近から流れてきた剣丸尾溶岩流の上に来たアカマツの自然林があり、そのアカマツの実、ここにすむニホンリスの大切な食べ物となっているからです。

一昨年、森林総合研究所多摩森林科学園の林さんと共同で、リスに発信器をつけて受信機で追いかけて、どう動いたかを調べるテレメトリー調査を始めていましたが、昨年の9月に3頭のリスに発信器をつけてもらい東京農工大学森林保全学研究室の学生に追跡調査をしてもらっています。12月までは順調に調査が進んでいましたが、1月15日の調査で2頭の発信器が脱落していることが判りました。そこで、残った1頭の を今後も追いかけてもらう予定です。これまでの結果から、冬は春から夏にかけて調べた一昨年の範囲より狭い範囲に集中していました。このことから、秋から冬にかけての時期に特にアカマツに頼っているのではないかと考える様になりました。

そこで、この時期にリスがアカマツの実をどのように食べるのかを、東京農工大学の学生に調べてもらいました。まずは、青緑色の開いていない実と茶色くなり開き始めた実を、移動調査用に捕獲許可を頂いて設置してある小型オリの中に置いておき、どちらを持って行くかを調べました。その結果は予想通り、開き始めた茶色の実だけを持って行きました。



次に、持っていきそうな3個の実の中をくりぬいて電波発信器を付け、どこまで運んで行くか、どこで食べるのかを調べました。最初の3個の1個は地上の倒木の下に、2個は地面の下に、いずれもオリから約10m程離れた場所まで運ばれました。最初の地上に置いてあった実をそのままにしておきましたら、すぐ近くのネズミの穴からみつかりました。2回目は12月に、アカマツの実3個にセメダインで発信器を貼り付けて置いてみました。翌日には約5m離れた所にあり1個はすぐに食べて「エビフライ」状態になっていて(写真)、1個はそのまま倒木の下に置かれていて、もう1個は地中から電波が出ていて所在がわからなくなっていました。現在は、アカマツの実に糸をつけてどこまで運んで行くかを調査していますが、アカマツの種子がどのようにして林の中で運ばれて行くのかが判ればと思っています。

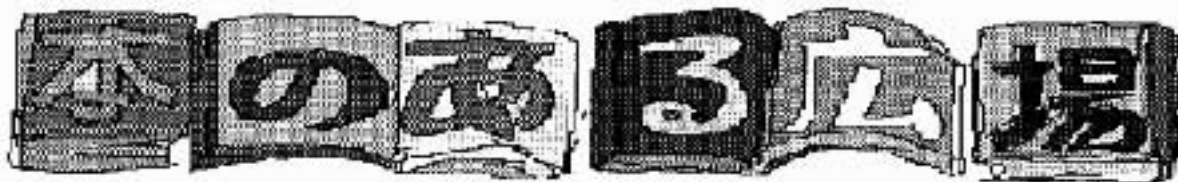
青木ヶ原樹海・富士河口湖町公認ネイチャーガイド養成講座について

12月号の広報に掲載されましたネイチャーガイド養成講座に、河口湖フィールドセンターも協力することになりました。過日下見をして来ましたが、様々な溶岩洞穴をはじめ、写真のように推定樹齢300年を越えるツガやヒノキなど素晴らしい樹海の自然がありました。また、西湖の湖畔では青木ヶ原樹海をつくった溶岩流の先端を見ることが出来ますし、樹海の中の歩道を含め、何ヶ所でも縄状溶岩を見ることが出来ました。

講座では、地学・動物・植物各分野の専門家の先生に講師をお願いし、講義と野外でのフィールドワークでご指導いただき、更には富士山に関する資料も持ち帰って頂こうと準備を進めております。

世界に誇れる素晴らしい自然である富士山の自然を保護しながら、一般の方々にもその様に富士山とその一部である青木ヶ原樹海の自然を理解していただきつつ、その自然の大切さをわかっていただけるかが重要だと思っておりますので、皆様のご協力をお願いいたします。





Fuji kawaguchikomachi 町立図書館 Tel & Fax 0555-73-3963

ホームページアドレス <http://www.mfi.or.jp/kawato1/> メールアドレス kawato1@mfi.or.jp

新着図書案内

看守眼 / 横山秀夫
 楊家将(上・下) / 北方謙三
 逃避行 / 篠田節子

このくにの行方 / 筑紫哲也
 メンタル革命 / 高畑好秀
 アリとキリギリスの日本経済入門
 世界地名の旅 / 蟻川明男
 日本の風土食探訪 / 市川健夫
 赤ちゃんからの英語レッスン / 中村敦孔
 テレビで話題の健康食材ガイド
 おやじ体型改造計画 / 寺門琢巳
 はじめてのホームシアター入門
 「天然にがり」で病気が治る、美しくなる



新着CD案内

Wish You The Best (倉木麻衣)
 × 3 (松浦亜弥)
 MISIA シングルコレクション5th (MISIA)

プッチベスト4
 川中美幸 2004年全曲集
 鳥羽一郎全曲集
 細川たかし全曲集
 きいちゃおうミルモでポン! ベスト2
 ミッフィーとおともだち
 ニューイヤークラシックス
 スノークラシック
 G album-24(kinki kids)



ブックスタート & 本の読み聞かせ会

町では、10カ月乳児健診時、対象者全員に赤ちゃんが元気で心豊かに育つことを願い、絵本をお渡ししています。

なぜ、0歳から絵本? わかりっこない! と思われる方もいるかもしれません。現代はテレビやビデオ等の普及により人と話さなくても不自由なく過ごせてしまいます。家事が忙しく、静かにテレビを見ていてくれれば助かる(時々、あってもいいかもしれませんが)と思われることもあるでしょう。しかし、この時代だからこそ、おとうさん、おかあさんをはじめ周りの人が肉声で声をかけてあげることが大切です。

赤ちゃんが「ことば」を育むのは、おとうさんやおかあさんの優しい語りかけや読み聞かせからはじまります。どうぞ、絵本を介して赤ちゃんに向かい合い、楽しい言葉の時間を分かち合ってください。また、図書館では関連事業として、絵本の読み聞かせ会を本館、分館で行っています。対象は0歳児～(本館のみ)と幼児～小学校低学年とあり、ボランティアグループ「うらら」の皆さんにより運営されています。読み聞かせや手遊び、パネルシアターなど約30分の楽しい時間です。是非、お子さんと一緒にお出かけください。日時は下記の予定の欄に記してあります。



大石・河口分館 2004年 2月の予定

開館日	月曜日	午後2時～7時	2・9・16・23日	大石分館読み聞かせ	9・23日	16:30～
	水曜日	午後3時～6時	4・18・25日(11日は休)	河口分館読み聞かせ	25日	16:30～

本館の 2004年 2月の予定

休館日	毎週月曜日・祝日 [11日(水)]	町立図書館読み聞かせ会	0歳～3歳対象	10日	10:30～
	館内整理日 [27日(金)]		3歳以上対象	6日	16:00～